



「ココが知りたい」。国際協力に関係する
いろんなトピックを分かりやすく解説します!



国際協力60周年

外務省が作成した国際協力60周年のロゴマーク

ODA政策

「国際協力60周年」 みんなで 国際協力を知ろう!

2014年は国際協力60周年。これをきっかけに、日本の国際協力について知り、開発途上国に目を向けてみませんか。

日 本が開発途上国援助に取り組む国際機関「コロンボ・プラン」に加盟し、政府開発援助（ODA）を通じた国際協力を開始したのが1954年。2014年は、「国際協力60周年」の節目の年に当たります。

これを受けて外務省は、日本国内でも多くの方に国際協力や途上国について関心を持ってもらうきっかけを増やそうと、年間を通してさまざまなイベントを計画していま

す。その一環として、今年12月までの間に実施される国際協力に関連する事業を「国際協力60周年記念事業」として認定しています。国際協力に関する事業を企画しているNGOや大学、地方自治体、民間団体、企業などで、外務省の認定事業としての実施を希望される場合は、規定のガイドラインに従ってお申し込みください。

国際協力60周年記念事業認定ガイドライン

URL : www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/annai/60th/nintei.html

事業認定の対象

以下の条件を全て満たすものについて、「国際協力60周年記念事業」としての認定を行います。

- ①2014年12月31日までの期間に実施される事業で、日本の国際協力への理解促進を目的とするもの。
- ②特定の主義・主張、政治活動や宗教の普及を目的とせず、また公序良俗に反しない事業であること。営利行為を主たる目的としない事業であること。
- ③事業実施にかかる経費については、主催者が一切の責任を負うこと。
- ④所定の書類を提出していること。

必要書類 (外務省ホームページからダウンロード可能)

事業認定申請書／誓約書／事業内容が明確となる資料 (事業概要、事業収支予定など) / 申請事業主体の活動内容を表す資料 (主催団体の概要、パンフレット、規約、過去の実績など)

送付先・問い合わせ先

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1
外務省国際協力局政策課広報班 ※封筒に「国際協力60周年記念事業認定申請」と明記してください。
TEL : 03-3580-3311 (内線3559/3095)
Eメール : Kokusaikyoryoku60@mofa.go.jp

審査結果の通知

申請者に対して個別に通知。

昨年の「グローバルフェスタ JAPAN」の様子



セルビアの洪水被害に対して日本が供与した緊急援助物資



首都を走るバスには日本とセルビアの国旗が。清潔で快適だと好評だ

「セルビア洪水被害に対する支援」 情けは人のためならず

5 月中旬、セルビアの首都ベオグラード近郊、中部、西部で降り続いた集中豪雨により大規模な洪水が発生し、物的・人的に甚大な被害が発生しました。これを受けて日本は緊急援助物資の供与を決定。寒冷地用のテントやスリーピングバッグ、発電機などを現地の赤十字社を通じて被災地に届けました。

ODA政策

この洪水被害のニュースを受けて、日本の市民からも駐日セルビア共和国大使館に寄付金やお見舞いの手紙が寄せられています。その理由の多くは、東日本大震災後に、セルビアの人々から総額2億円以上の義援金が寄せられたこと。「今こそ恩返しをする時だ」と多くの人が動いたようです。

Message from Haiti カリブ海に浮かぶアフリカ

在ハイチ日本国大使館

井上理恵 三等書記官

ハ イチは西半球ではアメリカに独立を果たした歴史上最初の黒人共和国です。日本がまだ江戸時代だったころに旧宗主国フランスから独立を勝ち取ったことに思いをはせると、この国の歴史の深さを感じられます。

しかし、その早すぎた独立から歴史の波に翻弄され開発が進まず、西半球の中では最貧国です。さらに2010年1月にはマグニチュード7.0の大地震が発生し、死者31万人を超える甚大な被害を出しました。



1982年にユネスコ世界遺産に登録されたサン＝スーシ城



日本の支援によって整備されたレオガン市内の道路



市民を雇用して、復旧・復興を進める

現地からのメッセージは、ODAメールマガジン (www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/mail/) でご覧いただけます。